

第4回

シチリア島／イタリア

マフィア発祥の地②

リクルート＝スタディサブリ講師 村山秀太郎



シチリア島のカタリーニャでレンタカー運転中にスクーターの襲撃を受け、父のクレジットカード以外の全ての金品を失った私たち2人は、2010年2月、ローマでパスポートを申請中の身となった。引き受けてくれたホテル Forum は、フォロ・ロマーノも見渡せる絶好のロケーションではあったが、部屋にいると気が滅んでくるので、久々にカラカラ浴場を見物し、ナポーナ広場の近くのテラス席で高級ワイン、ブルネッロ＝ディ＝モンタルチーノを飲んだ。

入試頻出「民族と文明の十字路」

それから10年が経過した2021年1月。大学入試は「センター試験」に替わり「共通テスト」となった。その記念すべき第1回の世界史の問題に、愛するシチリア島の歴史が出題された。地中海最大の島であり、民族と文明の十字路であるから、もともと入試頻出なのだ。今回

は、サヴォイア家のサルデーニャ王国による1861年のイタリア統一と建国の立役者の1人、青年イタリア党のガリバルディにひっかけての問である。

「シチリア島にはギリシア人やフェニキア人が植民市を建設した」という短文の正誤判定。答えは正解。

私たちが襲撃に遭ったカタリーニャは、ギリシア人により建設された街である。ローマとカルタゴのポエニ(フェニキア)戦争中に数学者アルキメデスが落命したシラクサーも同様だ。シラクサーには、キリスト教をローマ帝国内にあまねく広めた使徒パウロも立ち寄った。

一方、シチリア島最大の都市パレルモ、その西の塩田の街トラパーニや山の上の城塞都市エリーチェ、千人隊を率いたガリバルディが上陸した、酒で有名な街マルサーラ、哲学者アリストテレスが「世界一美しい場所」と絶賛した神殿の街アグリジェントは、フェニキア人の海洋都市国家カルタゴ(現在のチュニジアの首都チュニス)により基礎が築かれた。

支配者が目まぐるしく推移

ところで、なぜマフィアはシチリア島発祥なのか。

その基本構図は、島民が公権力への不信感の固まりであったがゆえに有力者が自警団をつくり、それがヘロイン取引などに手を染め犯罪組織へと転落したというものだ。背景には公権力